

狂言『釣狐』発祥の地、勝楽寺本堂で『釣狐』を観る。

■『釣狐』 伯蔵主:茂山正邦師 獺師:茂山茂師 (笛:左鴻泰弘師) ■『竹生島参』 主人:丸石やすし師 太郎冠者:松本薫師

彦根ゴーストツアー

「白い狐の章」

2012.11.10. (土) - 11.11. (日)

- ・妖怪「ハクゾウス」の故郷
- ・狂言と講談の一泊二日
- ・「お花きつね」を知る

一泊二日旅行代金 (お一人様)

¥23,000 (税込)

*一泊・4食付き / *10日 昼・夕 *11日 朝・昼

オプションツアー (雨天中止) 「狐塚参り」

参加者 20名募集・最少催行人員 15名

(日帰りプランが催行されない場合は、一泊二日プランも催行されません。)

日帰り旅行代金 (お一人様)

¥8,000 (税込) *昼食付き / *10日 昼

オプションツアー (雨天中止) 「狐塚参り」

参加者 20名募集・最少催行人員 15名

(一泊二日プランが催行されない場合は、日帰りプランも催行されません。)

- ・予定及びゲストの変更が生じる場合があります。予めご了承ください。
- ・出発時間の15分前にはお集まりください。尚、時間通り出発いたしますのでご注意ください。
- ・ご旅行代金はモニター料金となっております。
- ・添乗員は同行しませんが、スタッフがお案内させていただきます。
- ・ご旅行代金は事前に銀行振り込みをお願いいたします。(詳細は後日、近江屋ツアーセンターより郵送させていただきます)
- ・解散場所は変更になることがあります。
- ・詳しい旅行条件書をご用意しておりますので、事前にご確認の上お申し込みください。

狂言鑑賞 (お一人様) ¥4,500 (税込)

勝楽寺現地集合 参加者 40名募集

鑑賞には事前のお申し込みが必要です。

詳細は近江屋ツアーセンターまでお問い合わせください。

(ツアーの催行が無い場合には、狂言鑑賞は取りやめとなります。)

お問い合わせ

近江屋ツアーセンター tel.0749-23-0038

〒522-0071 滋賀県彦根市元町 4-1 滋賀県湖東合同庁舎1階

営業時間 8:30~17:15 ※土・日・祝休み

空の旅人舎 tel.090-7768-4030

〒522-0064 滋賀県彦根市本町 2-3-3

営業時間 9:00~17:00

お申し込みはホームページから

<http://kuuno.jp>

旅行行程 (日帰りの場合は 11月10日の行程となります。)

11月10日 (土)

彦根駅東口 (11:00 出発) === バス === 勝楽寺 (犬上郡甲良町) == (11:30) 昼食とオプションツアー (狐塚) ・ (13:30) 「狂言『釣狐』発祥の地、勝楽寺本堂で『釣狐』を観る」開場 ・ (14:00) 開演 ・ 勝楽寺住職奥山慶道師のお話 ・ 淡海妖怪学波杉原正樹氏のお話 ・ 大蔵流狂言師松本薫師のお話 ・ (15:00) 休憩 ・ (15:20) 『竹生島参』『釣狐』 ・ (16:30) 終演 === バス === (17:00) 彦根駅東口 (日帰りツアー解散) === バス === (17:15) 一圓屋敷 (犬上郡多賀町) ・ 夕食 ・ (19:00) 「狐語り」川崎敦子氏 === バス === (20:00) ひこねステーションホテル

11月11日 (日)

ひこねステーションホテル (9:20 出発) → (10:00) 蓮華寺 ・ 散策 ・ (10:45) 旭堂南海師講談「番場の忠太郎」 === バス === (12:10) 樋口山 ・ 昼食 === バス === (13:20) 大通寺 ・ 見学とお花きつね探訪 == (15:00) 黒壁スクエア散策 (16:00) == バス == (16:40) 彦根駅東口解散

狂言『釣狐』発祥の地「勝楽寺」 妖怪ハクゾウス

勝楽寺 (犬上郡)

足利尊氏とともに室町幕府創建に活躍し、その豪放無比な言動から婆娑羅(ばさら)大名と呼ばれた佐々木道誉(京極道誉 1296-1373)が建立した臨濟宗建仁寺派の寺院。背後の山は勝楽寺城跡。ここに「狐塚」があり、「璞蔵主(ハクゾウス)」の話が伝わる。そして、狂言『釣狐』はこの物語が元となっているという。オプションツアーでは「狐塚」を訪ねる。

北条仲時と京極道誉

蓮華寺 (米原市)

南北朝時代、足利尊氏の寝返りにあつて鎌倉へ落ち延びる途中、京極道誉に阻まれて進退極まった北条仲時以下432人が自刃。流れ出た鮮血で、辺りは川と化したといわれている。仲時28歳ほか、6歳の子供から60歳の高齢者に至るまでの名を記した過去帳は、国の重要文化財に指定され、寺の裏には彼らの墓が寄りそうように並んでいる。

また、蓮華寺は長谷川伸の戯曲『験の母』の主人公「番場の忠太郎」で知られ、番場の忠太郎の故郷として、境内に忠太郎地蔵や碑が建てられている。ツアーでは、蓮華寺本堂で旭堂南海師の講談「番場の忠太郎」を聞く。

お花きつね

大通寺 (長浜市)

真宗大谷派(東本願寺)の別院。元は旧長浜城内にあり、長浜御堂と呼ばれていた。彦根藩主井伊直孝から寺地の寄進を受けて現在地に移り、本堂はじめ境内の建物がつくられていった。山門は、伏見桃山城の遺構と伝わっている。「お花」という名前の狐は、大通寺の移転問題と共に語り継がれている。「大通寺の大広間の天井に、お花という狐が住んでいた。梯子がかけてあり、毎日この梯子を登って油揚げを供える人が、後を絶たない」といわれている。ツアーでは、大通寺を見学しお花きつねに油揚げを供えるための梯子をさがす。